

足立区
報道広報課
〒120-8510 足立区中央本町1-17-1
☎ 3880-5111 (代表)
☎ 3880-5678
✉ voice@city.adachi.tokyo.jp

あだち

広報



変わる教育

タブレットでもっと広く、もっと深く。



変わる日常

スマホでもっと便利に、もっと楽しく。

区立小・中学校の全児童・生徒へのタブレット端末の配備やスマートフォンの急速な普及など、ICT*が身近に感じられる機会が増えました。今号は、「子ども」と「高齢者」のICT活用を特集します。★…情報通信技術。通信技術を活用したコミュニケーション

【問先】学校情報化推進担当 ☎ 3880-5646
消費者センター ☎ 3880-5385

くわしくは6・7面へ

葺立ち

コロナ禍による「新しい生活様式」への移行に伴い、拍車がかかったのがICTの活用です。特に大きな変化は、児童・生徒に対する一人一台のタブレット端末の配備と、自治体DX(デジタル化)に合わせた行政の変革の動きでしょう。◆当区では当初、学校現場へのタブレット端末の配備が遅れ、関係の皆様には多大なご迷惑をおかけしました。ところが夏休み終了後、区独自で1日間実施した臨時休業期間を通して、学校現場のICT活用状況は劇的に変化。教員側も児童・生徒側も自信を深めました。しかしながら、学校間で活用内容に差も見受けられますので、ICT支援員の派遣回数を増やすなどして現場支援を強化し、平準化に努めます。◆行政サービスも三密解消を目的として、来庁せず、かつ時間を要せずに手続きができる電子申請の業務拡大と、相談業務へのリモート導入に舵をさりました。◆そこで気になるのが「デジタルテイルド」。ICTを使いこなせるか否かによって生じる格差です。特にスピードを要する災害時等緊急情報の発信には、ホームページやAメールなどを多用せざるを得ず、これらにつながれないリスクは決して小さくありません。対策の一つとして、本紙でご紹介したスマホやパソコンはちよつと…とおっしゃる方向けの講座を随時ご案内してまいります。ぜひご利用ください。◆東日本大震災の経験から、決してあなどれないのが町会・自治会の掲示板による情報伝達。緊急時の有効活用を模索しています。

足立区長 近藤やよい

学校ICT

(興本扇学園)

平成18年4月に足立区初の小中一貫教育校として開校。平成28年に東京都教育庁が実施している「公立小中学校ICT教育環境整備支援事業」に採択されたモデル校の一つ。

▲令和3年9月、区内小・中学校全児童・生徒約4万5,000人にタブレット端末の配備完了

▲授業では教科書も使いながら、情報収集などでタブレットも使用

「進む」教育

全員の答えが、1つの画面で分かる



※写真はイメージです

先生:わかった人〜 児童:は〜い! 楽しかった授業シーンは、今もそのままですが、最近はそこにタブレットをプラス。活用の一例がふせん機能です。各自がタブレットに意見を書き込むと、ボタン1つでグループ画面に共有され、全員の考えや意見を見ることができます😊
これまででは、限られた(先生に当てられた)人の発言しか共有できませんでした。より多くの思いや答えに触れることが、深い学びのきっかけに。



ふせんの色を変えることもできる

タブレットは、委員会や部活動などの連絡手段としても使えるよ



画面を保存して、あとで見返すこともできるのが便利!

いつでも、どこでも、誰とでもつながる

インターネット環境があれば、いつでも、どこでもつながることができるのがICT教育の強み。その特徴を活かしたのが、区内皮革製造業者への「オンライン社会科見学」です。

予約枠(15校)に対して、なんと3倍の45校から申し込みが😊!

参加した子どもたちからは、「なんで職人さんになろうと思ったんですか?」などの質問がドンドン出てきます。「インターネットだからこそ」できることを、今後さらに広げていきます。



オンライン社会科見学の様子

ランドセルの大変な製造工程を知ることができました。教えてくれた職人さん、ありがとう!



※写真は中川小学校

子どもの学習意欲に火をつける

子どもの吸収スピードは、驚かされますね



世界中の情報にアクセスできるインターネットは、児童・生徒が知りたいこと、調べたいことにも一瞬で答えてくれます。そしてその調べ学習は、ただ調べるだけではありません😊

例えば、英語の授業。東京スカイツリーと東京タワー、「どちらが高いでしょうか(Which is higher?)」の問題をタブレットで作成。そして答える生徒も英語で回答。その答えはもちろん、It's Tokyo Skytree! 🙌!



写真で示すことで、視覚的に分かりやすい

私は8人組で動画作りにも挑戦! 学園祭で流したよ!



なんと、CMコンテストにも応募あり!

区主催の「第11回あだワンCMグランプリ」に、東綾瀬小学校から21作品も応募がありました! 自分たちで撮影・編集まで行いました。あっぱれ🎉



▲応募作品はコチラ

ホットな情報、公開中!



各学校のICTの取り組みなど、最新情報はコチラ▶



今号はあだち「子ども」のICT本扇学園、「高活用」では区主催や、足立区センターの様子を
問先 学校情報化推進担当 消費者センター